

学生の国際交流

和歌山県立医科大学では、学生の国際交流を積極的にすすめています。学生の国際交流には、本学から海外の大学等に学生を派遣する場合と、海外の学生を本学に受け入れる場合の2つがあります。

海外派遣については、3年生の基礎配属期間中には基礎医学研究の目的で、6年生のポリクリ期間中には臨床実習の目的で海外派遣を実施しています。平成28年度には基礎配属期間中には3年生3名を約2か月間海外派遣しました。1名は米国ミネソタ大学、2名は協定校である中国山東大学医学部です。ポリクリ期間中には6年生7名を約1か月間海外派遣しました。4名は米国ハワイ大学、2名は米国バーモント大学、1名はチェコプラハ大学です。平成29年度は、臨床実習に6年生7名を海外派遣することが決定しています。2名は米国バーモント大学、3名はチェコプラハ大学、2名はタイコンケン大学です。

海外派遣した学生については報告会を行っています。そこでは、海外の医学部の実態を肌で感じ、外国の医学部学生と交流し、異文化に触れ、今までの自分からはブレイクスルーをおこした生き生きとした発言を聞くことができます。ハワイ大学では、毎朝6時半から回診があり、学生でも約20名の患者を受け持っています。回診時の患者のプレゼンテーションの準備に深夜3時に病院に行ったそうです。それほど厳しい経験をして、学生は「ハワイ大学に行って良かったです」と生き生きと語ります。ハワイ大学での臨床実習の記憶は、一生心に残ることでしょう。今後の人生でこの体験を生かし、更に勉学に励み、すばらしい医師になってもらえることを期待しています。

海外からの学生の受け入れについては、平成28年度にはチェコプラハ大学から2名の医学部学生、タイコンケン大学から4名の医学部学生、中国山東大学から8名の医学部学生、3名の看護学部学生を受け入れました。この他、協定校以外の大学の学生や多数の看護学部学生も受け入れています。また、国際交流協定校である山東大学とは、隔年で学生の派遣と受け入れを繰り返しています。平成29年度は、山東大学へ学生を派遣する年度になります。山東大学学生との交流会などの際には、本学の学生と山東大学の学生が笑顔で話している姿が見られます。日中両国の医学部の学生の笑顔を見ていると、学生同士の交流が活発にすすみ、本学学生が海外の医学部学生と友達になることで、大きく視野を広げてくれていることがわかります。日中の両大学が更に交流を深めることを期待しています。

国際交流協定も、山東大学等の今までの7大学に加え、新たに米国ハワイ大学、韓国亜州大学、韓国延世大学、韓国高麗大学医学部、ミャンマーヤンゴン第1医科大学、ヤンゴン看護大学、ヤンゴン総合病院、ミャンマー保健省、ベトナム保健省と締結しました。国際交流協定校の数は、飛躍的に増えている状況です。

基礎配属期間中やポリクリ期間中に海外派遣する学生を決定する際には、選抜試験を実施しています。英語100点、学業成績100点、面接100点、合計300点満点で行い、すべての項目が一定基準に達している学生の中から、上位の学生を選んでいく予定です。英語については、TOEFL iBT試験を受けてもらい、その点数を100点満点に換算しています（speakingの無いTOEFL ITPではありません）。このため、基礎配属やポリクリ期間中に海外に行きたいと思っている学生は、TOEFL iBTの受験の準備をしておいて下さい。受験英語が得意だったからといって、TOEFL iBTで高得点が取れるとは限りません。読む、書く、聞く、話す、バランス良く勉強して下さい。面接では、本当に基礎医学の研究に興味があるのか、海外で臨床実習したいと思う強いモチベーションがあるのか等の熱意・意欲も含め評価します。基礎医学研究・臨床に対する熱意・意欲がなく相手先の大学・研究室に迷惑をかけてしまうと、本学と海外の大学との国際交流は続かなくなる可能性もあります。また、時間を割いて教えてもらっているという状況を理解する謙虚な姿勢も重要です。このように語学以外の要素も考慮し評価します。選抜試験の詳細については、紀三井寺の管理棟1階の国際交流センターまで気軽に聞きにきて下さい。

若い時は、いろいろなことを体験して下さい。人種の違い、宗教の違い、文化の違い、そして米国の医学部学生が非常によく勉強する姿を目で見て、米国流の臨床実習の激しさを体験して下さい。それが、貴君貴女を将来すばらしい医師として育て上げるでしょう。